

請求の範囲

- [請求項1] CD1dをコードするポリヌクレオチド及び誘導型プロモーターに作動可能に連結されたNY-ESO-1又はその断片をコードするポリヌクレオチドを含む、ヒト由来細胞。
- [請求項2] NY-ESO-1がヒトNY-ESO-1である、請求項1に記載の細胞。
- [請求項3] CD1dがヒトCD1dである、請求項1又は2に記載の細胞。
- [請求項4] 誘導型プロモーターが薬剤誘導型プロモーターである、請求項1～3のいずれか一項に記載の細胞。
- [請求項5] 薬剤誘導型プロモーターが、テトラサイクリン系誘導型プロモーターである、請求項4に記載の細胞。
- [請求項6] テトラサイクリン系誘導型プロモーターがTRE3Gプロモーターである、請求項5に記載の細胞。
- [請求項7] ヒト由来細胞が正常細胞である、請求項1～6のいずれか一項に記載の細胞。
- [請求項8] ヒト由来細胞がヒト胎児腎細胞293（HEK293）細胞に由来する細胞である、請求項7に記載の細胞。
- [請求項9] CD1d及びNY-ESO-1又はその断片を発現している、請求項1～8のいずれか一項に記載の細胞。
- [請求項10] NY-ESO-1又はその断片の発現量が 10^6 細胞当たり245ng～45000ngである、請求項9に記載の細胞。
- [請求項11] 細胞の表面にCD1dリガンドを積載している、請求項9又は10に記載の細胞。
- [請求項12] CD1dリガンドが α -GalCerである、請求項11に記載の細胞。
- [請求項13] 請求項11又は12に記載の細胞を含む医薬組成物。
- [請求項14] がんの処置に用いるための、請求項13に記載の医薬組成物。
- [請求項15] がんを処置する方法であって、請求項11又は12に記載の細胞を

対象に投与する工程を含む、方法。

- [請求項16] がんを処置するための、請求項11又は12に記載の細胞。
- [請求項17] がんの処置に用いる医薬組成物を製造するための、請求項11又は12に記載の細胞の使用。
- [請求項18] がんの処置に用いる細胞を製造する方法であって、請求項1～8のいずれか一項に記載の細胞を誘導型プロモーターの誘導因子の存在下で培養することによりNY-ESO-1又はその断片の発現を誘導させる工程を含む、方法。
- [請求項19] 細胞の表面に α -GalCerを積載する工程をさらに含む、請求項18に記載の方法。
- [請求項20] がんの処置に用いる細胞を製造する方法であって、
 ヒト由来細胞にCD1dをコードするポリヌクレオチド及び誘導型プロモーターに作動可能に連結されたNY-ESO-1又はその断片をコードするポリヌクレオチドを導入する工程、又は
 内在的にCD1dを発現するヒト由来細胞に誘導型プロモーターに作動可能に連結されたNY-ESO-1又はその断片をコードするポリヌクレオチドを導入する工程、
 を含む、方法。
- [請求項21] 前記工程で得られた細胞を誘導型プロモーターの誘導因子の存在下で培養することによりNY-ESO-1又はその断片の発現を誘導させる工程をさらに含む、請求項20に記載の方法。
- [請求項22] 細胞の表面に α -GalCerを積載する工程をさらに含む、請求項21に記載の方法。
- [請求項23] がんを処置する方法であって、請求項11又は12に記載の細胞と免疫チェックポイント阻害剤を対象に投与する工程を含む、方法。
- [請求項24] 免疫チェックポイント阻害剤がPD-1系免疫チェックポイント阻害剤、又はCTLA-4系免疫チェックポイント阻害剤である、請求項23に記載の方法。